TN50594②

お客様用 取扱説明書

集合住宅システム
管理室通話制御盤 (HCN011A-100/-300)
管理室制御盤 (HCN011/-P)

製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも製品の不明点を解決できるように大切に保管してください。

■安全上のご注意

安全にお使いいただくために、下記の⚠警告 ⚠注意を必ずお守りください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷や傷害を負うか機器の機能に重大な影響を及ぼす可能性が想定されます。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うか機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定されます。

機器に液体(水、洗剤、飲み物など)を入れたり、ぬらさないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。

汚れは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よく絞ってから拭いてください。ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。

携帯電話、無線機などを近くで使用すると、誤動作の原因となることがあります。

目次

■設備された機器の構成

設置された管理室（通話）制御盤は、通話機能として ■住戸の住宅情報盤 ■建物の集合玄関機 ■管理室のドアホン ■他の管理室（通話）制御盤と通話ができます。
さらに放送機能として、指定住戸の住宅情報盤へ個別に、または全住戸へ一斉に放送することができます。

また、セキュリティー機能として、各住戸の ■火災警報 ■ガスもれ警報 ■非常通報 ■防犯警報の各警報および ■トイレコール ■バスコール ■コール ■水漏れセンサーなどの異常通報を受信して、「どこの住戸でどのような異常が発生したか」を確認できる機能が備わっています。

※これらの機能は、設備されるシステムにより使用できないものもあります。使用できる機能については、下図のシステム例および、施工工事店の設備説明書を参考に、設備されている機器をご確認ください。

■各部の名称とはたらき

❶電源灯……………………電源が入っている時、緑色に点灯します。
❷警報発生部屋番号表示窓……異常が発生し、警報を発した部屋番号を表示します。
❸警報表示部…………………システムが作動すると、機能に応じた警報を文字で表示します。
❹メモリ灯……………………メモリがセットされた時、緑色に点灯します。
❺通話部屋番号表示窓………通話相手の部屋番号(その他通話機器の番号など)を表示します。
❻メモリ・セットボタン………各住戸が不在で通話ができない場合、相手の住宅情報盤に管理室から呼出しがあったことを表示する時に押します。
❼メモリ・リセットボタン……一旦セットしたメモリーを消去する場合、(相手の部屋番号をテンキーで入力してから)このボタンを押します。または、メモリセット確認後、リセットを行うとメモリを消去できます。
❽テンキー……………………通話相手の部屋番号など、数字の入力に使用します。
❾カバー開閉用コインキー……点検などでカバーを開ける時に使用します。
❿呼出ボタン…………………通話する場合、相手の部屋番号を入力してからこのボタンを押します。(受話器を取らずに、このボタンを押すと呼出音が調整できます。)
⓫取消ボタン…………………テンキーの誤入力時に使用します。
⓬解錠ボタン…………………オートロックの電気錠を解錠する時に押します。
⓭警報音停止ボタン…………警報音を停止する時に押します。
⓮警報復旧ボタン……………警報内容を確認・処置し、安全を確認してから、平常の監視状態に戻す時に押します。
⓯次警報ボタン………………次警報灯が点灯している場合、このボタンを押すと、次の警報が表示されます。
⓰緊急呼出ボタン……………緊急時に呼出したい住戸が通話中の場合、このボタンを押すと、割り込み通話ができます。
また、本機が住戸からの警報を表示している時は、その住戸の部屋番号を入力しなくても、このボタンを押して、相手が受話器を取るとつながります。
※住戸の住宅情報盤が警報音を発している時は、このボタンは機能しません。
⓱一斉放送ボタン……………全住戸の住宅情報盤に放送する場合、このボタンを押して、受話器の声を放送します。
(住戸の住宅情報盤では、内蔵のスピーカーが鳴るため、受話器をとる必要がありません。)
※住宅情報盤が警報音を発している住戸には、一斉放送できません。
⓲スピーカー…………………呼出し、警報に使用します。
⓳受話器………………………通話する時に使用します。

■ご使用方法（インターホン機能）

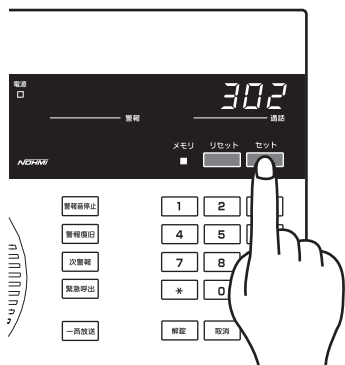
管理室（通話）制御盤は、各住戸、集合玄関機、管理室のドアホン、他の管理室（通話）制御盤と通話ができます。

■各住戸から呼出しを受けた場合

◆チャイム音（ピンポンパン）が鳴ります。
●**通話部屋番号表示**窓に部屋番号が点滅表示され、受話器を取り上げると、部屋番号が点灯表示に変わり、通話できます。
●通話が終ったら受話器を戻します。
◆表示は消えます。

■呼出しを受けてもこちらが不在の場合 「メモリーメッセージ」

各住戸から呼出しがあった時に不在の場合（約10秒間呼出しが続く）、本機に呼出しがあった事が記憶されます。
（複数の住戸から呼出しがあった場合、20件まで記憶できます）

◆**メモリ**灯が点灯します。
●（受話器を取り上げずに）**メモリ・セット**ボタンを押すと、呼出しのあった部屋番号が表示されます。
●通話する場合は、受話器を取り上げ、**呼出**ボタンを押します。
（相手が受話器を取ると通話できます）
※メモリーは呼出しのあった住戸と通話するまで消えません。

■住戸を呼出す場合

●受話器を取り上げ、部屋番号を**テンキー**で入力します。
◆部屋番号が表示されます。
●**呼出**ボタンを押します。
（相手が受話器を取ると通話できます）
●通話が終わったら受話器を戻します。
◆表示は消えます。

■呼出した住戸が不在の場合 「メモリーメッセージ」

住戸を呼出しても出られずに通話できない場合、相手の住宅情報盤に用件（メッセージ）がある事を表示できます。

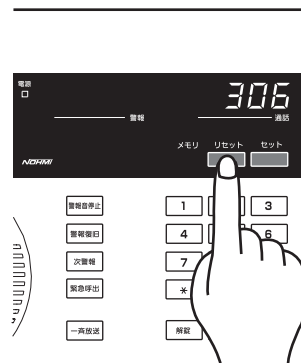
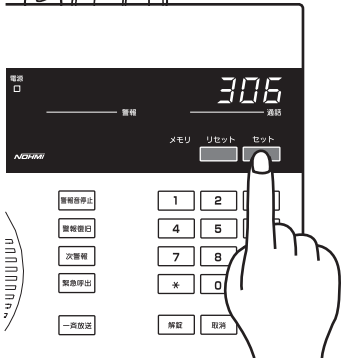
●呼出した住戸が出ない場合、**メモリ・セット**ボタンを押します。
◆**メモリ**灯が点灯します。
◆相手の住宅情報盤では、管理室灯が点灯し、管理室から用件がある事が分かります。

●受話器を戻して住戸からの呼出しを待ちます。

(A)メモリ・セットした住戸を確認する場合

●受話器を取り上げ、**メモリ・セット**ボタンを押すと部屋番号が表示されます。

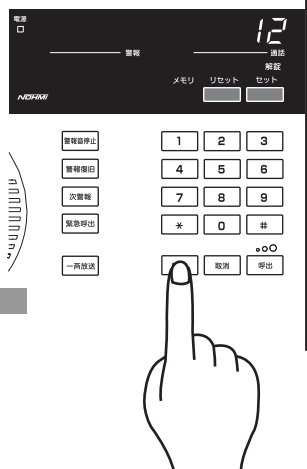
(B)用件が不要となり、メモリーを消去する場合

●メモリーメッセージを解除する部屋番号を**テンキー**で入力します。または、受話器を取り上げ、**メモリ・セット**ボタンを押して、部屋番号を表示させます。
●**メモリ・リセット**スイッチを押します。

■集合玄関機から呼出しを受けた場合

建物のオートドアは安全確保のため、集合玄関機のインターホンで来訪者、用件を確認した上で、開ける（または開けない）ことができます。

◆チャイム音（ピンポーン）が鳴ります。
◆**通話部屋番号表示**窓に集合玄関機番号（11～18）が表示されます。
●受話器を取り上げて通話し、来訪者、用件を確認します。

■オートロックを解錠する場合

●来訪者との通話中に**解錠**ボタンを押します。
◆オートロックが解錠されます。
◆解錠中（5秒間）は**解錠**灯が点灯します。
●**解錠**後は、受話器を戻します。
※オートロックを開けない場合は、通話終了後、受話器を戻します。

■管理室のドアホンから呼出しを受けた場合

◆チャイム音（ピンポーン）が鳴ります。
◆**通話部屋番号表示**窓にdoorと表示されます。
●受話器を取り上げて通話します。
●通話が終ったら受話器を戻します。

■他の管理室（通話）制御盤から呼出しを受けた場合

複数の管理室（通話）制御盤が設置されている場合、それぞれと通話する事ができます。

◆チャイム音（ピンポンパン）が鳴ります。
◆**通話部屋番号表示**窓に管理室（通話）制御盤番号（21～24）が表示されます。
●受話器を取り上げて通話します。
●通話が終ったら受話器を戻します。

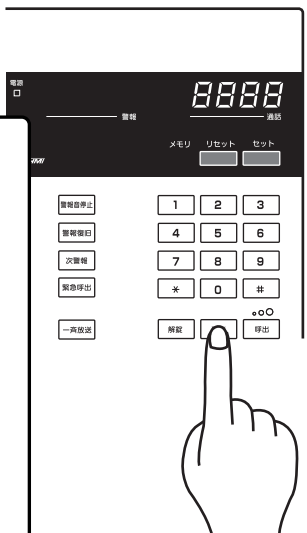
■他の管理室（通話）制御盤を呼出す場合

●受話器を取り上げ、**テンキー**で ＊ 1 に続き相手の管理室（通話）制御盤番号（1～4）を入力します。

◆管理室（通話）制御盤番号が表示されます。
●**呼出**ボタンを押します。
（相手が受話器を取ると通話できます。）
●通話が終ったら受話器を戻します。
◆表示は消えます。

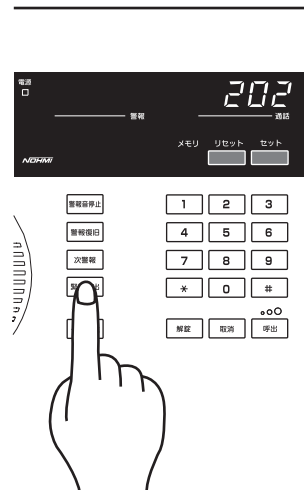
集合玄関機のオートロックを解錠するための暗証番号を確認する場合

（A）通常使用する「暗証番号1」を確認する場合
●受話器を取り上げます。
●**テンキー**で ＊ 4 1 を押すと暗証番号1が表示されます。
●確認したら受話器を戻します。

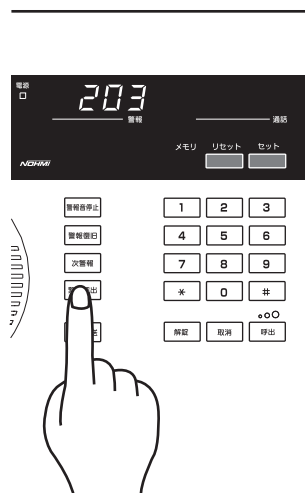
（B）時間指定で解除する「暗証番号2」を確認する場合
●受話器を取り上げます。
●**テンキー**で ＊ 4 2 を押すと、暗証番号2が表示されます。
●確認したら受話器を戻します。

■住戸の緊急呼出しと放送

管理室（通話）制御盤には、緊急時に呼出したい住戸が通話中であっても、割り込みをして通話できる機能および、住戸の住宅情報盤のスピーカーから一斉または個別に放送できる機能があります。（放送機能は、各住戸では住宅情報盤のスピーカーから音が聞こえますので、受話器を取る必要がありません。）
※ただし、これらの機能は、異常が発生し、住宅情報盤が警報音を発声している住戸には使用できません。

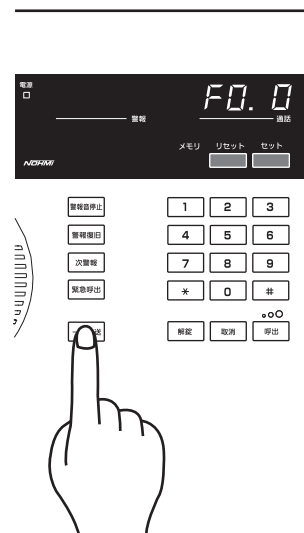
■住戸を緊急呼出しする場合（割り込み通話）

●受話器を取り上げ、部屋番号を**テンキー**で入力します。
◆**通話部屋番号表示**窓に部屋番号が表示されます。
●**呼出**ボタンを押して、「ツーツー」というお話し中の音が聞こえた場合、受話器を戻し、再度受話器を取り上げ、部屋番号を**テンキー**で入力します。
●**緊急呼出**ボタンを押します。
（通話中に割り込み、通話できます）
※リサ複合盤システムでは、管理室制御盤（HCN011-P型）からの緊急呼出しは、できません。リサ複合盤から操作してください。

■警報中の住戸を呼出す場合

住戸で異常が発生し、管理室（通話）制御盤の**警報発生部屋番号表示**窓に部屋番号が表示されている場合

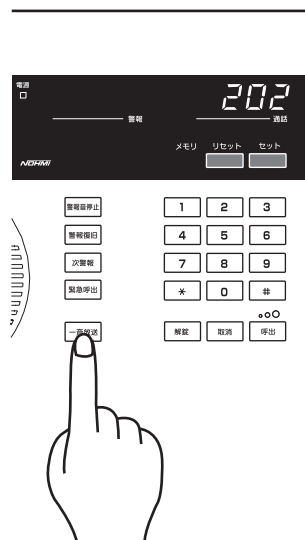
●受話器を取り上げ、**緊急呼出**ボタンを押します。
（相手が受話器を取ると通話できます）
※住宅情報盤の警報音が鳴っている時は、使用できません。
※リサ複合盤システムでは、管理室制御盤（HCN011-P型）からの緊急呼出しは、できません。リサ複合盤から操作してください。

■各住戸へ一斉に放送する場合

●受話器を取り上げ、[＊][0][0]を押します。
●**一斉放送**ボタンを押します。

◆**「ポーン」という確認音**が受話器から聞こえた後、受話器で話す声が各住戸の住宅情報盤のスピーカーから放送されます。
※住宅情報盤の警報音が鳴っている住戸には、放送は聞こえません。

■指定した住戸（1戸）へ放送する場合

●受話器を取り上げ、[＊][3] に続き**テンキー**で部屋番号を入力します。

◆**通話部屋番号表示**窓に部屋番号が表示されます。
●**一斉放送**ボタンを押します。

◆**「ポーン」という確認音**が受話器から聞こえた後、受話器で話す声が指定した住戸の住宅情報盤のスピーカーから放送されます。
※住宅情報盤の警報音が鳴っている時は、使用できません。

■警報時の動作と対応

各住戸で異常が発生した時、住宅情報盤からの通報を管理室（通話）制御盤が受信すると、警報音、音声警報が鳴り、警報内容を示す表示灯とともに、発生した部屋番号が表示されます。
また警報時、異常が発生した住戸ではドアホンの警報灯が赤く点滅し、「火災、ガスもれ、非常通報、防犯」の各警報を警報音と音声警報にて知らせます。
警報時は異常の内容を把握し、適切な対応をしてください。

●警報の優先順位
複数の警報を同時に受信した時は、火災・ガスもれ〉非常〉防犯〉換気・水もれ・トイレコール・バスコール〉火災感知器線断線・ガス漏れ検知器線断線・伝送異常の順に警報、表示します。

■警報時の管理室（通話）制御盤の表示と動作

警報内容	表示灯	警報音･音声警報
火災発生(※1)	**火災** （赤）点灯	ファンフォン ファンフォン ファンフォン ○○○号室で火災が発生しました。
ガスもれ	**ガスもれ** （黄）点灯	ピッピッピッピッピッ ○○○号室でガスもれです。
非常通報	**非常** （赤）点灯	ピーポー ピーポー ピーポー ○○○号室で緊急事態発生。
防犯警報	**防犯** （赤）点灯	ピーポー ピーポー ピーポー ○○○号室で防犯装置が作動しました。
換気警報	**換気** （赤）点灯	ピーピーピー ○○○号室で換気警報発生。
水もれ	**水もれ** （赤）点灯	ピーピーピー ○○○号室で水もれです。
コール	**コール** （赤）点灯	ポッポッポッ ○○○号室でコール警報発生。
バスコール	**コール** （赤）点灯	ポッポッポッ ○○○号室のお風呂に来てください。
トイレコール	**コール** （赤）点灯	ポッポッポッ ○○○号室のトイレに来てください。
火災感知器線断線	**障害** （赤）点灯	ピー ○○○号室の配線を確認してください。
ガス漏れ検知器線断線	**障害** （赤）点灯	ピー ○○○号室の配線を確認してください。

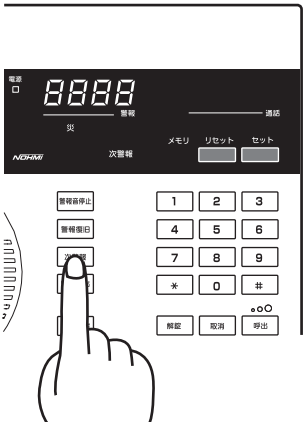
※1　リサ複合盤システムにおいて共用部で火災が発生した場合、管理室制御盤（HCN011-P型）では警報発生部屋番号表示に『0000』と表示し、「0000号室で火災がしました。」と警報します。

■警報を受信した場合

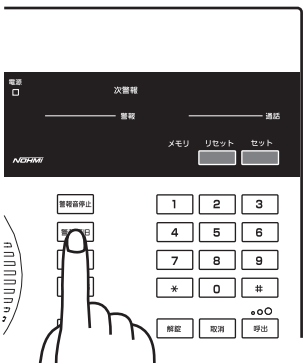
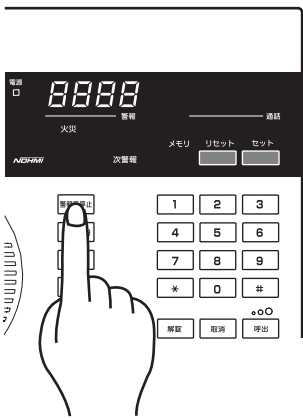
◆**管理室（通話）制御盤から警報音、音声警報が鳴り、警報表示部に発生部屋番号と警報内容が表示されます。**

対応 警報音、音声を止めるには、**警報音停止**ボタンを押します。

※**次警報**灯が点灯している時は、複数の通報がある場合です。
次警報ボタンを押すと、順次、部屋番号と警報内容が表示されます。

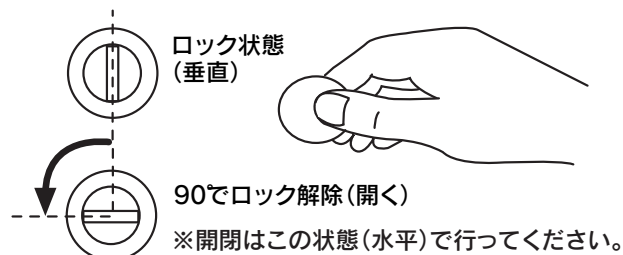
異常の内容を把握して適切な対応をしてください。

■発生した異常の処置が済んだ場合

●**警報復旧**ボタンを押します。
※警報音、音声を止めないと、警報復旧できません。

◆警報システムは、平常の監視状態に戻ります。
※リサ複合盤システムでは、管理室制御盤（HCN011-P型）では警報復旧できません。リサ複合盤から操作してください。

■盤内での設定が必要な機能

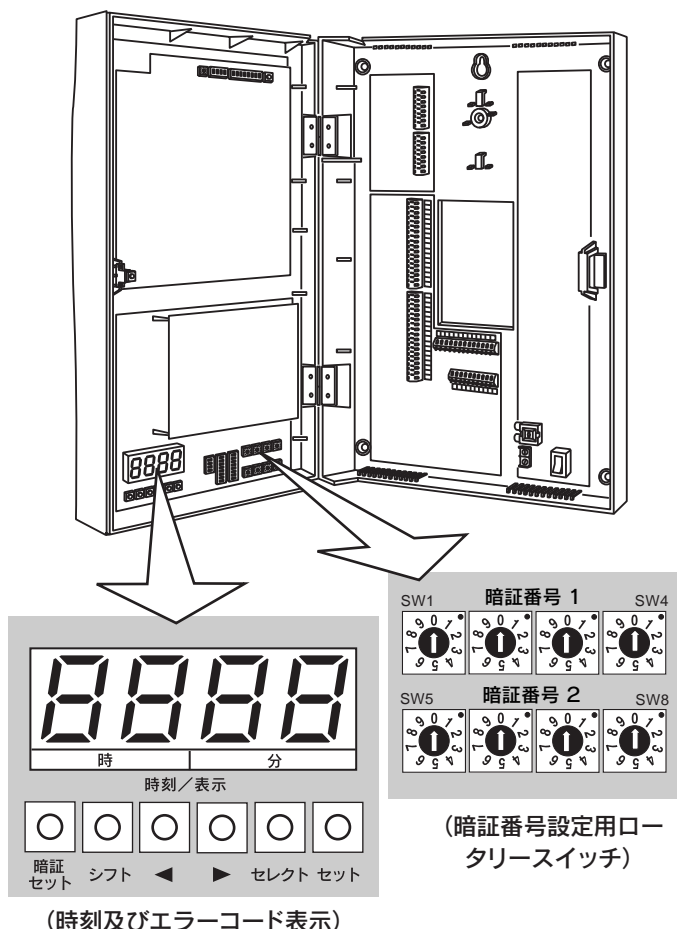
管理室(通話)制御盤は、施工時にシステムの機能設定は済んでいますが、■内蔵時計の時刻(3日以上の停電があったような場合)、■オートロックの解錠用暗証番号(入居者用、配達者用)、■オートロックの配達者用解錠時間制限などは、必要に応じてカバーを開けて設定してください。
また、■本機が作動しない、■集合玄関機から住戸へ、または管理室から住戸等への通話・呼出しができない、■住宅情報盤の警報が管理室へ伝わらないなどの異常が発生した場合も、カバーを開けてデジタル表示で故障内容を確認してください。

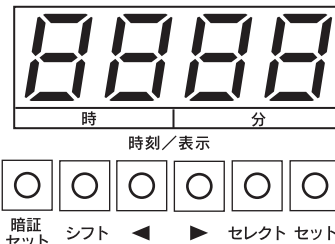
カバー開閉用コインキーの使用方法

●コインキーの開閉は、硬貨等を使ってください。
●押しながら左に90゜回転させるとロックが外れます。
●閉じる場合は、必ず開けた時の状態(90回した状態)でカバーを閉じて、コインキーを押しながら回してロックしてください。

■盤内のデジタル表示

パネル左下にある4桁のデジタル表示を確認してください。
◆平常時は、現在の時刻を表示します。
◆異常発生時は、エラーコード(別表)を表示します。
※複数のエラーが重なって出ている時は下にある「シフト」スイッチを押すとスクロールします。
※エラー表示されている場合は、時刻設定、暗証番号時刻設定ができません。

(時刻及びエラーコード表示)

(暗証番号設定用ロータリースイッチ)

■時刻の設定方法

内蔵時計の時刻設定は、4桁のデジタル表示とスイッチにより行います。

時刻設定は、年(西暦下二桁)、月、日、時、分があり次の手順により行います。

1.年の設定

1 セレクトスイッチを1回押します。
2 図のようにデジタル表示「1□○○」が表示されます。
　□:ブランク
　○○:すでに設定されている年
3 年を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。
　「◀」:桁上げ時押す。
　「▶」:桁下げ時押す。(00～99までが設定できます)
4 年を決定したら、セットスイッチを押します。
　(セットスイッチを押さないと前に設定した年のままになります)

(99年が設定されている時)

2.月の設定

1 年の設定後、セレクトスイッチを1回押します。
　(年を設定しない時は2度押す) **2** 図のようにデジタル表示「2□○○」が表示されます。
　□:ブランク
　○○:すでに設定されている月
3 月を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。
　「◀」:桁上げ時押す。
　「▶」:桁下げ時押す。(01～12までが設定できます)
4 月を決定したら、セットスイッチを押します。
　(セットスイッチを押さないと前に設定した月のままになります)

(1月が設定されている時)

3.日の設定

1 月の設定後、セレクトスイッチを1回押します。
　(年・月を設定しない時は3度押す) **2** 図のようにデジタル表示「3□○○」が表示されます。
　□:ブランク
　○○:すでに設定されている日
3 日を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。
　「◀」:桁上げ時押す。
　「▶」:桁下げ時押す。(01～31までが設定できます) **4** 日を決定したら、セットスイッチを押します。
　(セットスイッチを押さないと前に設定した日のままになります)

(3日が設定されている時)

4.時間の設定

1 日の設定後、セレクトスイッチを1回押します。
（年・月・日を設定しない時は4度押す）
2 図のようにデジタル表示「4□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている時間
3 時間を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～23までが設定できます）
4 時間を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります）

（午後3時が設定されている時）

5.分の設定

1 時の設定後、セレクトスイッチを1回押します。
（年・月・日・時を設定しない時は5度押す）
2 図のようにデジタル表示「5□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている時間
3 分を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～59までが設定できます）
4 分を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります）

（15分が設定されている時）

設定が完了したら、そのまま約10秒間待つと「設定した時刻」が表示されます。

（注意）
設定中に約10秒間スイッチを操作しない状態が続いた場合も「時刻表示」になります。
「◄」または「►」スイッチを1秒以上押し続けると桁上げまたは桁下げの数字が早く変わります。

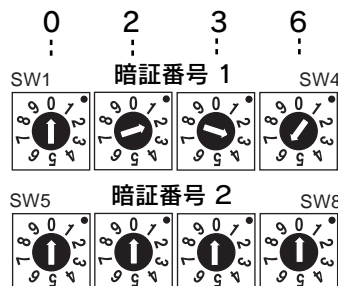
■オートロック解錠用暗証番号の設定

建物入口の集合玄関機のオートロックは、キーを使用して解錠する他に、暗証番号を入力して開けることもできます。
暗証番号は4桁の数字で、デジタル表示の右側にあるロータリースイッチにより設定します。

●**暗証番号1**は入居者用として、**暗証番号2**は、新聞配達など、時間によりオートロックを解錠する必要がある時に使用します。

●設定用ロータリースイッチには、0～9までの数字があります。付属の専用ドライバー（または精密ドライバー等）を使って設定してください。
（図は暗証番号1を「0236」に設定した例を示します。）

0 2 3 6
SW1 暗証番号 1 SW4
SW5 暗証番号 2 SW8

●オートロックを暗証番号で解錠しない場合は、番号の設定を「0000」にしてください。

■暗証番号の時刻設定

暗証番号2は、新聞配達など、時間によりオートロックを解除しますが、その時間帯を次のように設定します。

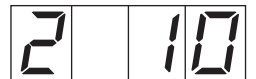
（注意）
0時（午前零時）をまたがる設定はできません。
過った設定例　開始：23時（午後11時）　終了：1時（午前1時）

1.開始時間の設定

1 暗証セットスイッチを1回押します。
2 図のようにデジタル表示「1□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている時間
3 時間を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～23までが設定できます）
4 時間を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります）

（午前4時が設定されている時）

2.開始分の設定

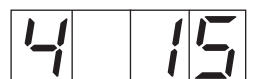
1 時間の設定後、暗証セットスイッチを1回押します。
（時間を設定しない時は2度押す）
2 図のようにデジタル表示「2□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている分
3 分を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～59までが設定できます）
4 分を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります）

（10分が設定されている時）

3.終了時間の設定

1 開始分の設定後、暗証セットスイッチを1回押します。
（開始時分を設定しない時は3度押す）
2 図のようにデジタル表示「3□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている時間
3 時間を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～23までが設定できます）
4 時間を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります）

（午前6時が設定されている時）

4.終了分の設定

1 終了時間の設定後、暗証セットスイッチを1回押します。
（開始時分、終了時間を設定しない時は4度押す）
2 図のようにデジタル表示「4□○○」が表示されます。
□：ブランク
○○：すでに設定されている時間
3 分を変更するには「◄」または「►」スイッチを押します。
「◄」：桁上げ時押す。
「►」：桁下げ時押す。（00～59までが設定できます）
4 分を決定したら、セットスイッチを押します。
（セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります）

（15分が設定されている時）

設定が完了したら、
そのまま約10秒間待つと「現在時刻」の表示に変わります。

■エラーコード表

■本機(管理室通話制御盤、管理室制御盤)が作動しない、■集合玄関機から住戸へ、または管理室から住戸などへの通話･呼出しができない、■住宅情報盤の警報が管理室へ伝わらないなどの異常が発生した場合は、盤内の通話部屋番号表示窓または、盤内のデジタル表示で異常内容を確認してください。異常内容は、次表のエラーコードにより確認できますので、故障が認められた場合は速やかに点検を依頼してください。

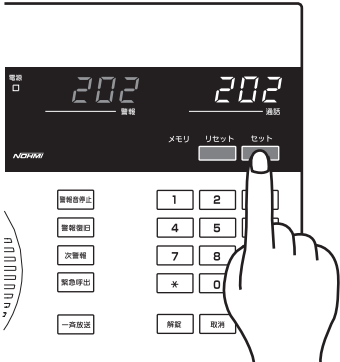
(例:ヒューズ断の異常時)

エラーコード	異常内容 (盤面における確認)
Er00	範囲外の数値を入力
Er01	存在していた住戸、管理室、集合玄関機無応答
Er02	存在しない部屋番号、管理室(通話)制御盤番号、集合玄関機番号を入力して呼出
Er03	通話制御装置無応答
Er08	短絡検出
Er09	通話制御装置伝送異常
Er14	ROM異常
Er15	RAM異常

エラーコード	異常内容 (盤内における確認)
E001	EEPROM異常
E002	RTC異常
E003	RAM異常
E004	ROM SUM異常
E005	拡張I/O異常
E006	宅配ロッカー I/F 異常
E007	コントローラ I/ F異常
E008	履歴情報 I/ F 異常
E009	ヒューズ断
E010	メインマイコン異常
E011	スレーブマイコン 1 異常
E012	スレーブマイコン 2 異常
E013	
E014	
E015	
E016	
E017	
E018	
E019	
E020	
E021	管理室制御盤 1 無応答
E022	管理室制御盤 2 無応答
E023	管理室制御盤 3 無応答
E024	管理室制御盤 4 無応答
E025	管理室制御盤 1 誤応答
E026	管理室制御盤 2 誤応答
E027	管理室制御盤 3 誤応答
E028	管理室制御盤 4 誤応答
E029	
E030	
E031	集合玄関機 1 無応答
E032	集合玄関機 2 無応答
E033	集合玄関機 3 無応答
E034	集合玄関機 4 無応答
E035	集合玄関機 5 無応答
E036	集合玄関機 6 無応答
E037	集合玄関機 7 無応答
E038	集合玄関機 8 無応答

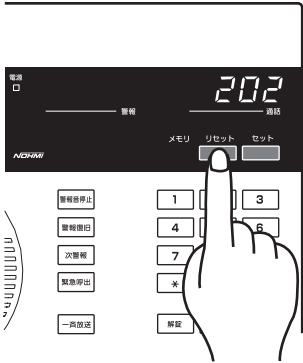
エラーコード	異常内容 (盤内における確認)
E039	
E040	
E041	集合玄関機 1 誤応答
E042	集合玄関機 2 誤応答
E043	集合玄関機 3 誤応答
E044	集合玄関機 4 誤応答
E045	集合玄関機 5 誤応答
E046	集合玄関機 6 誤応答
E047	集合玄関機 7 誤応答
E048	集合玄関機 8 誤応答
E049	
E050	管理室制御系統の短絡
E051	集合玄関機系統の短絡
E052	
E053	
E054	
E055	管理室制御系統の受信回路異常
E056	集合玄関機系統の受信回路異常
E057	
E058	
E059	
E060	
E061	系統 1 の短絡
E062	系統 2 の短絡
E063	系統 3 の短絡
E064	
E065	
E066	
E067	
E068	
E069	
E070	
E071	系統 1 の受信回路異常
E072	系統 2 の受信回路異常
E073	系統 3 の受信回路異常
E074	
E075	
E076	
E077	
E078	
E079	

■故障機器遮断の設定と解除

管理室通話制御盤または管理室制御盤での住戸内警報（故障含む）を部屋番号単位で遮断します。警報による音響および表示がおこなわれなくなります。ただし、火災・ガスもれ（換気）発報については遮断できません。

(A)設定方法

●受話器を取り上げ、[#][3]と部屋番号を**テンキー**で入力します。
●**通話部屋番号窓**の部屋番号表示を確認して**セット**ボタンを押すと設定されます。
（警報発生部屋番号窓に部屋番号を表示している場合は、消えることを確認してください）
※一度設定すると、解除するまで遮断状態は続きます。
（電源を切っても同じです）

(B)確認方法

●受話器を置いた状態で、[#]を押し、つづいて**セット**ボタンを押します。
◆遮断中の部屋番号が**通話部屋番号窓**に表示されます。
※遮断中の部屋が複数ある場合は、**次警報**ボタンを押すことで、順々に表示されます。
最後まで表示し終わった時は、『**End**』と表示されます。

(C)解除方法

●確認後、**通話部屋番号窓**に部屋番号が表示された状態で**リセット**ボタンを押します。
◆解除により、**通話部屋番号窓**に表示されていた部屋番号が消えます。
※確認が不要な場合には、受話器を取り上げ、[#][3]と部屋番号を**テンキー**で入力し、リセットボタンを押すことでも解除できます。
（警報中"故障"の部屋を解除した場合は、警報部屋番号窓に部屋番号が表示されます）
※解除は1部屋ごとしかできないため、複数の部屋を解除する場合は、同じ操作を繰り返しおこなってください。
※リサ複合盤システムでは管理室制御盤（HCN011-P型）から故障機器遮断はできません。
リサ複合盤から操作してください。

■機器定格

	管理室通話制御盤 （1通話）	管理室通話制御盤 （2通話）	管理室制御盤 （電源なし）	管理室制御盤
型名	HCN011A-100	HCN011A-300	HCN011	HCN011-P
電源電圧	AC100V±10% 50／60Hz		DC24V（管理室通話制御盤より供給）	AC100V±10% 50／60Hz
消費電力	監視時：約10W 作動時：約30W	監視時：約20W 作動時：約40W	監視時：約50mA 作動時：約200mA	監視時：約6W 作動時：約10W
呼出音 （他の機器から呼ばれた時）	■ドアホンから 電子チャイム音「ピンポーン」 ■集合玄関機から 電子チャイム音「ピンポーン」 ■住戸の住宅情報盤から 電子チャイム音「ピンポンパン」（連続） ■他の管理室通話制御盤から 電子チャイム音「ピンポンパン」			
通話方式	（ハンズフリー親機）自動交互通話 （受話器付き親機・ドアホン・集合玄関機）同時通話			
主材・色	難燃性ABS樹脂・オフホワイト			
寸法	幅306×高460×奥行148mm			
質量	約3600g	約3700g	約2790g	約2850g

■日常のお手入れについて

●本体の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくい時は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭いてください。その際本機に水等がかからないようご注意ください。
●ベンジン、シンナーなどの薬品は、機器の表面を傷めたり、変色の原因になりますので使用しないでください。
●お手入れの際に受話器が確実にフックにかかっていること、また、カールコードが不自然にねじれていないことを確認してください。

■アフターサービスについて

この製品には2年間の保証が付いています。 故障と思われる場合は、取り付け工事をした施工店もしくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

●能美防災株式会社・CSサービスセンター　TEL:0120-102-408
●能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

修理を依頼される前に下記事項をご確認ください。
◆製品名(型名)・お買い上げ日(お取り付け日)
◆故障または異常の内容
◆ご住所・お名前・電話番号
◆訪問ご希望日

※使用中、故障や誤動作、またはこれらの不都合により通話利用の機会を逸した場合の損害補償については、申し受けかねますのでご了承ください。

[補修用性能部品について]
この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産中止後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

警告

機器を分解・改造しないでください。
感電・故障・発火の原因となります。

NOHMI 能美防災株式会社

本　社/〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211 FAX.(03)3264-4948
支　社/北海道(011)746-6911 東 北(022)221-2695 新 潟(025)243-8121 丸の内(03)3213-1781
茨 城(029)225-2600 北関東(048)642-0147 千 葉(043)266-0303 西関東(0426)27-4930
横 浜(045)682-4700 長 野(026)227-5521 静 岡(054)247-3211 名古屋(052)915-2411
金 沢(076)252-6211 大 阪(06)6330-8661 京 都(075)231-0128 神 戸(078)334-3581
広 島(082)263-7334 岡 山(086)244-4222 九 州(092)712-1560 熊 本(096)360-1051
営業所/旭 川(0166)23-7823 帯 広(0155)25-4900 青 森(017)729-0532 盛 岡(019)645-0552
秋 田(018)862-5086 郡 山(024)933-5580 福 島(024)528-4195 上 越(0255)26-1886
羽 田(03)3747-6800 渋 谷(03)3461-1051 杉 並(03)3306-0451 城 東(03)3645-8300
城 北(03)5292-2137 五反田(03)3779-9737 土 浦(029)822-3851 宇都宮(028)637-4317
群 馬(027)328-1567 埼玉西(049)247-4640 メヌマ(048)588-2893 川 崎(044)233-5773
沼 津(055)923-9669 浜 松(053)473-3422 岐 阜(058)276-7761 三 重(059)226-9860
富 山(076)425-1496 福 井(0776)21-0056 高 松(087)862-6012 徳 島(088)625-4325
松 山(089)974-2823 北九州(093)551-2588 長 崎(095)845-0135 大 分(097)543-2778
宮 崎(0985)28-8792 鹿児島(099)253-8196 沖 縄(098)862-4297
工　場/三 鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531